

**ロバート キャンベル氏×芥川賞作家・村田沙耶香さん！**  
**「箱庭に人を入れて、化学反応が起こる…**  
**(小説を書くこと)は実験をしているようです」**  
**TOKYO FM サンデースペシャル『人生に、文学を。』**  
**2018年5月27日(日) 19:00～19:55 放送**

TOKYO FMでは5月27日(日)19時からサンデースペシャル『人生に、文学を。』を放送します。これは、TOKYO FM が、芥川賞や直木賞などを主宰する公益財団法人 日本文学振興会と共に贈る”聴いて親しむ日本文学“の年4回シリーズで、日本文学研究者のロバート キャンベル氏が毎回小説家をゲストに迎えて、日本文学の真髄に迫る特別番組。第4回のゲストは『コンビニ人間』で第155回芥川賞を受賞した村田沙耶香さん。村田沙耶香さんが考える「文学」とは？5月27日(日)の放送を、どうぞお楽しみに。

◆「物語がどこへどのようにドライブしていくのかわからないまま書いています」(村田沙耶香)



5月27日(日)19時から放送の TOKYO FM サンデースペシャル『人生に、文学を。』では、日本文学研究者のロバート キャンベル氏が話題の作家をゲストに迎え、日本文学の奥深い世界を掘り下げてその魅力を再発見し、人生により深みを与えてくれる「文学」の役割について考えていきます。

第4回のゲストは『コンビニ人間』で2016年第155回芥川賞を受賞した作家・村田沙耶香さん。アメリカ、ドイツ、フランス、韓国、台湾など世界各国で翻訳されている『コンビニ人間』の海外からの反響について、新作『地球星人』、さらに小説を書くようになったきっかけについて語りました。

「頭の中で思い描いていたストーリーを”保存”できるものが小説だと思っていました。でも実際にやってみると、言葉は生命を持っていて、自分が思い描いたようにストーリーを”保存”できないどころか、自分の思いの寄らないところまで連れて行ってくれる。私は子どもの頃から本当の本当という言葉がずっと考えていました。それを教えてくれるものをずっと探していて。書くことは、本当の本当、自分の無意識しか知らない世界にどんどん連れて行ってくれる、小説にこのまま引張られて行ったら真実を知ることができるのではないか、と思ったんです」そんな村田さんにとって「文学」とは何なのでしょう？「なくなってしまうことを想像すると恐ろしい」といながら、村田さんらしくあるものに例えました。5月27日(日)19時から放送を、どうぞご期待下さい。

【番組概要】

- ◆タイトル: TOKYO FM サンデースペシャル『人生に、文学を。』
- ◆放送日時: 2018年5月27日(日)19:00～19:55
- ◆出演: ロバート キャンベル 村田沙耶香
- ◆提供: 日本文学振興会 ◆放送局: TOKYO FM
- ◆番組 HP: <http://www.tfm.co.jp/jinsei-bungaku>

**【参考資料】**

＜村田沙耶香 プロフィール＞

1979年生まれ。千葉県出身。玉川大学文学部芸術文化学科卒。2003年に『授乳』が群像新人文学賞の優秀作となり作家デビュー。2016年に『コンビニ人間』で第155回芥川賞受賞。

＜「人生に、文学を。」とは＞

公益財団法人 日本文学振興会が「本を読むこと」、「文学に親しむこと」の素晴らしさを、広く世に訴えるプロジェクト。第二期(2017年7月～)から TOKYO FM と連携することにより情報発信をさらに進め、より幅広い層へ向けて、「人生に、文学を。」のメッセージを届けていきます。日本の文学を担う作家たちとともに、また、本プロジェクトの主旨にご賛同下さったご協賛社とともに、本と出会うこと、文学に出会うことによって、ひとりひとりの人生がより豊かなものになる可能性があることを主張していきます。

<https://www.jinsei-bungaku.jp>

＜日本文学振興会とは＞

日本文学振興会は「文芸の向上顕揚を計ることを目的」として、芥川龍之介賞、直木三十五賞、菊池寛賞、大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション大賞、松本清張賞の選考と授賞を行う公益財団法人です。